

行政評価アドバイザー会議を終えて ～行政評価アドバイザーによるコメント～

平成30年9月13日

小澤アドバイザー

私は今年度が1年目で、全体がまだ把握できないままに、この会議に入らせていただき、質疑でもみなさんにご迷惑をおかけした部分もあったのではないかと反省をしているところです。

全体を通しては、施設・事業全てにおいて改善が必要と感じました。県の職員の方々が、プロという立場から、一生懸命取り組んできている中で私たちがアドバイスをするというのは、少しおこがましいなと思いつつも、今回、意見をさせていただいた部分が、事業を執行している各課のみなさんに伝わり、少しでも反映していただけると嬉しいと思いました。

私自身がまだ勉強させていただいているところなので、的確に意見できなかった部分も多かったかとは思いますが、今年度の経験を来年度に繋げていければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

村上アドバイザー

私は今年度、行政評価アドバイザーというものを初めて体験しまして、本当に何もわからないところからの始まりで、事前調査から戸惑いばかりでした。こんな私が県の行政評価を引き受けていいのか不安感ばかりでしたが、行政評価の目的を考えるうちに、一人の県民の立場から、事業を執行している県の方々とその事業を考えるということに意味があるのではないかと考えるようになりました。

初めてなので、膨大な県の事業の数にも驚きましたが、選定した10事業、2施設という数も慣れないアドバイザーとしては、その全てを理解するには多い件数だと感じました。事前調査、アドバイザー会議、公共施設については現地調査を通して、様々な質疑や必要資料の要求なども繰り返し、少し見えてきたこともありましたが、それでも日々事業を執行している現場では、そこでしかわからない御苦労もたくさんあると思います。私たちアドバイザーに質問されて、それについて考えて回答するというだけでも、現場のなかでは何か発見があるのかもしれませんし、またそれが、行政評価の目的である成果の検証や効率的な事業執行に繋がれば良いと思います。

私といたしましては、アドバイザーという初の経験をさせていただき、非常に勉強になりましたというのが率直な感想です。ありがとうございました。

小口アドバイザー

私から見解を申し上げさせていただきますが、1 つめは、事業や施設の本来の目的に戻ってもう少し考えていただきたいなということです。どうしても成果目標として、とにかく来庁者を集めるとか、イベントをやってがんばろうという話になりますけども、それはそれで大切なのですが、その前に事業や施設の本来の目的は何か、施設であれば特殊な強みというものがありますので、そういったものを踏まえ、一番来て欲しい人というのは誰かとといったものを考えた上でターゲットを決めて行動していくということでないか、形だけで終わってしまうのではないかと思います。

2 つめは、成果目標があまりにも離れたところに設定されてしまっているということです。その事業をやったことで県全体がどうなるということにはなかなか結びつかないと思いますので、その事業が達成できるもっと身近なところに成果目標を設定していただきたいと思います。

3 つめですけれども、我々民間から見ると、県は情報の宝庫だと思うのですが、情報の収集や発信というところがまだまだ弱いかなと思います。情報発信というと機関誌に掲載したりマスメディアにお願いしたりSNSを利用したり様々なことをやっているわけですが、それと同時にやっていただきたいのは、生の声を集めるということです。せっかく来ていただいた人に話を聞くとか、あるいはこちらから出向いてPRする営業みたいなもの、そうしたフェイストゥフェイスのところで情報の発信や収集の強化をぜひお願いしたいと思います。また、県は非常に多くの情報を集めることができますが、これがなかなか十分に生かされていないという印象がありますので、きちんと集めて、分析して、還元するところにフィードバックする仕組みを、もう少ししっかりしたものにしていただきたいと思います。

4 つめですが、県の総合力をもう少し発揮していただきたいなと思います。どうしてもその部、その課の仕事となってしまうがちですが、評価のなかでもジュエリーミュージアムや近代人物館、セーフティドライブチャレンジの部分で少し触れましたが、自分のところだけではなく、関連機関を巻き込んでやることによって、全体の数の増加や、コスト削減にも繋がると思いますので、まずは部のなかでの連携、あるいは部を超えての連携というものを強化していただきたいと思います。

あとは感想となりますが、私がアドバイザーをやっていると思うのは、外部評価に選定されると、事業、施設の所管課の方で非常に考えて、今年度からこういうことをやっていますということが結構出てきます。我々はアドバイザーとして少ない情報量でいろいろアドバイスをしていますが、やはり実際に事業を執行しているの方々の方がわかっていることがたくさんあると思います。外部評価に選定されたことをきっかけに、所管課の方で何か考えなければいけないかなということでのいろいろ考え、自ら改善点をいくつも出しているという印象を持ちますので、我々アドバイザーの意見ももちろんですが、こうしたことが刺激となって、全体が良くなっていくお手伝いできればと考えております。何ヶ月も担当させていただいて、事務局のみなさんは気苦労も多かったと思いますがご協力いただきありがとうございました。アドバイザーのみなさんはお疲れ様でした。ありがとうございました。